**地域社会と原子力に関する社会科学研究支援事業**

**研究提案書**

|  |  |
| --- | --- |
| 研究名 | **応募要領の例にならって質問形式で書いてください。** |
| フリガナ研究提案者氏名 |  | 生年月日（西暦） |  　 年　　月　　日（　　歳）（2023年7月7日現在） |
| 所属機関 | フリガナ所在地 | 〒Tel: 　　 Fax: E-mail: |
| 機関名所属部署名 |  |
| 連絡先 | 　**所属機関　・　その他**　　（通常連絡を受ける場所を○で囲んでください。）その他の場合には、その連絡先を記載してください。 　〒　　　　　　　　住所Tel: Fax: E-mail:緊急の連絡をする場合もありますので、差し支えなければ記載してください。自宅Tel: 携帯Tel: |
| 提案内容の概要 | 提案内容を800字程度でまとめてください。 |
| 研究予算 | 必要とする予算額を記載してください。 |

**研究提案内容**

※　以下の項目について**A4用紙 1枚** で記載してください。

**１．研究提案者氏名**

※グループで応募する場合は参加するメンバー全員の氏名を記載してください。

**２．提案内容**

※研究の背景や目的、方法を簡潔に説明してください。

**３．実施計画**

**４.必要経費**

※人件費や謝金、出張旅費など、内訳を記入してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 費目 | 金額（千円） | 主な使途 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 合計 |  |  |

**５．東海村への要望等**

※研究を遂行するにあたり、村の情報提供など協力を必要とすることがありましたら記載してください。

**６.研究指導教員について**

|  |  |
| --- | --- |
| **指導教員** | **氏名：****所属：****メールアドレス：** |
| **指導教員からのメッセージ**研究の意義や応募者の実行力などをお書きください。 |  |

＜参考＞

助成金が使用可能な費目一覧

1 謝金

助言や講演を依頼する外部の専門家、作業補助者等に対する謝金。

※研究提案者や研究メンバーの人件費は助成の対象になりません。

2 委託費

調査・集計やシステム構築などを行う場合、研究提案者や研究メンバーでは実施することの難しい、専門性の高い業務を外部の専門業者・機関に委託する経費。

※必要性についてよく検討してください。自らデータを整理したり分析したりすることは皆さんの研究にとても役にたつ作業です。

3 旅費

国内・海外旅費（交通費および宿泊費）。日当、食費などの諸費用は、助成の対象になりません。

4 通信・運搬費

切手代、宅配便送料等

5 消耗品費

税込単価1万円未満の消耗品費。（例：ヒアリング記録用ICレコーダー、コピー用紙その他文具など）

6 資料・複写費

文献・資料等の購入費（1冊　税込単価 1万円未満）、複写費。

※できるだけ大学図書館などを活用してください。

7 印刷・製本費

パンフレットやチラシの印刷費、冊子の製本費等。

8 その他諸経費

 学会参加費、保険料、支払手数料等